

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 2 年 5 月 15 日

京都府知事 様



提出者

住 所 大阪府大阪市中央区道修町3-4-10

氏 名 飛島建設株式会社 大阪支店

執行役員支店長 中川 勲治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6227-0250

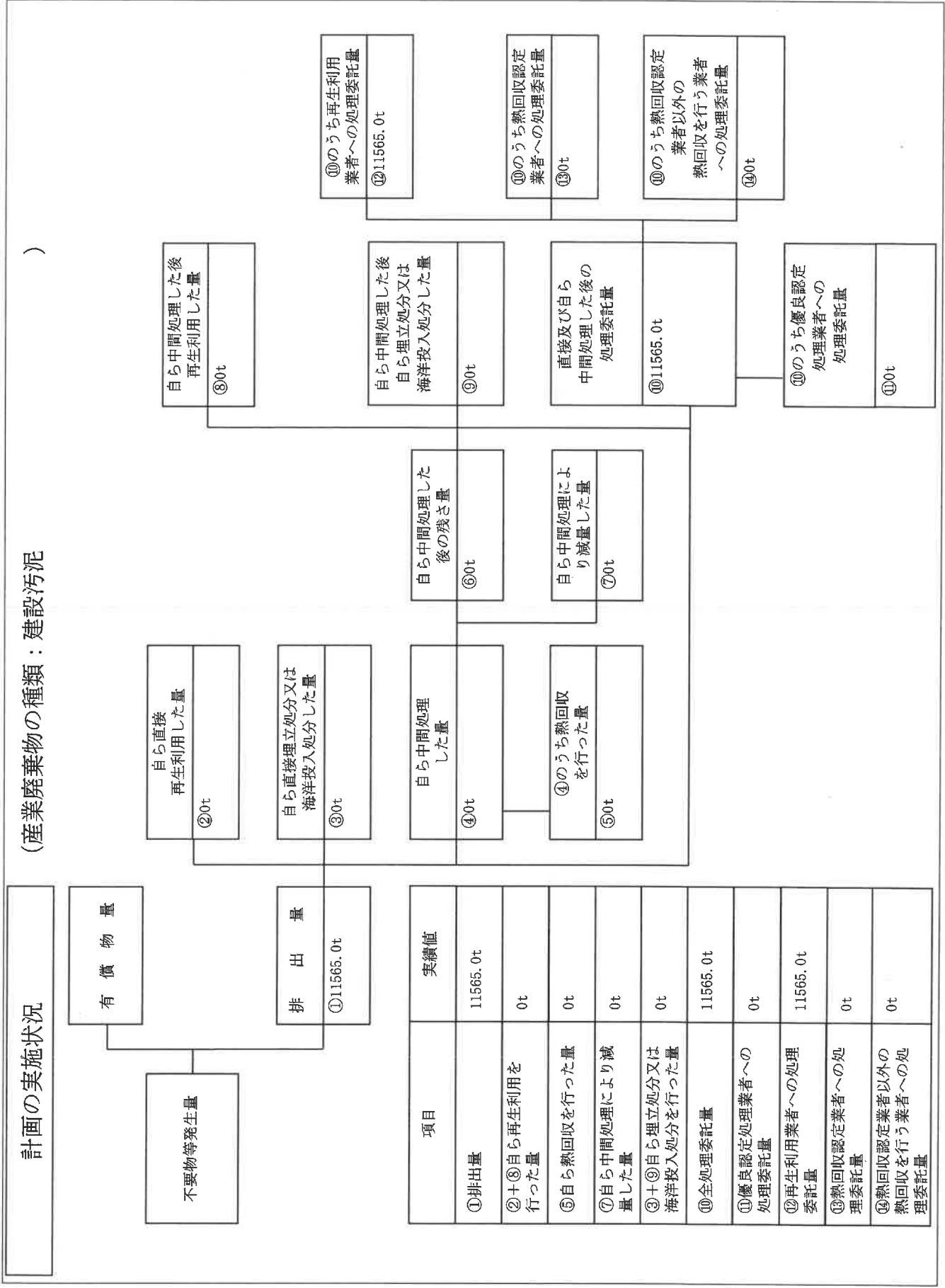
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 元 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	飛島建設株式会社 大阪支店 京都府管内事業場
事業場の所在地	京都府管轄区域内
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	618 t	全処理委託量	618 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	15 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	618 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄



自ら中間処理した後に再生利用した量
⑧0t

自ら直接再生利用した量
②0t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③0t

自ら中間処理した後の残さ量
⑥0t

自ら中間処理した量
④0t

④のうち熱回収を行った量
⑤0t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩11565.0t

④のうち熱回収を行った量
⑤0t

自ら中間処理により減量した量
⑦0t

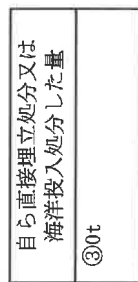
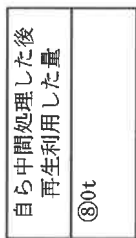
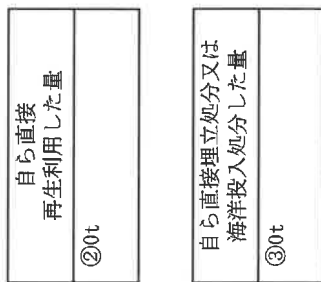
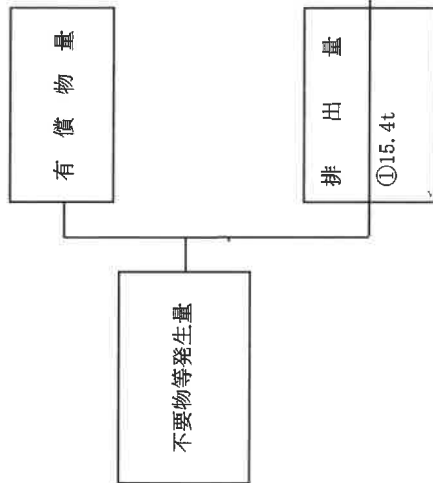
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪0t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫11565.0t

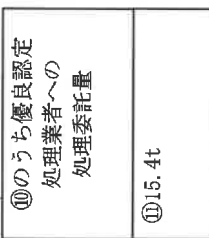
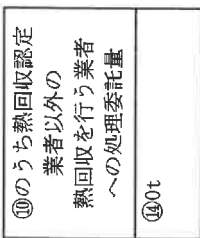
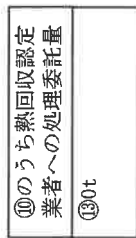
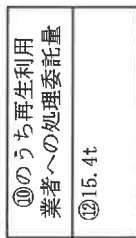
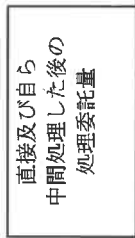
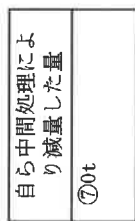
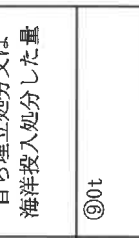
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬0t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭0t

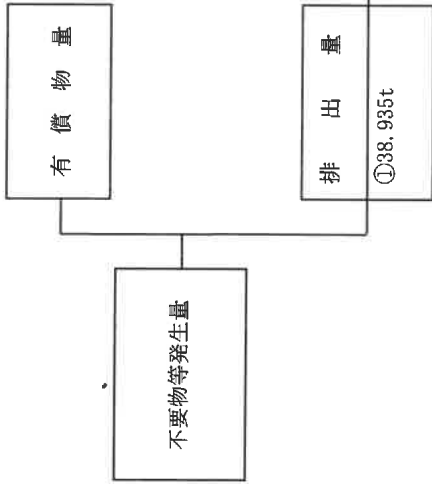
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	15.4t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	15.4t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.4t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.4t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：木くず)



項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
①排出量	38,935t	④0t	⑤0t	⑨0t	⑨0t	⑫38,935t	⑬0t	⑭0t	⑰0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t								
⑤自ら熱回収を行った量	0t								
⑦自ら中間処理により減量した量	0t								
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t								
⑩全処理委託量	38,935t								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t								
⑫再生利用業者への処理委託量	38,935t								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t								
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0t								

自ら直接再生利用した量
②0t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③0t

自ら中間処理した量
④0t

④のうち熱回収を行った量
⑤0t

自ら中間処理した後の再生利用した量
⑧0t

自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨0t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩38,935t

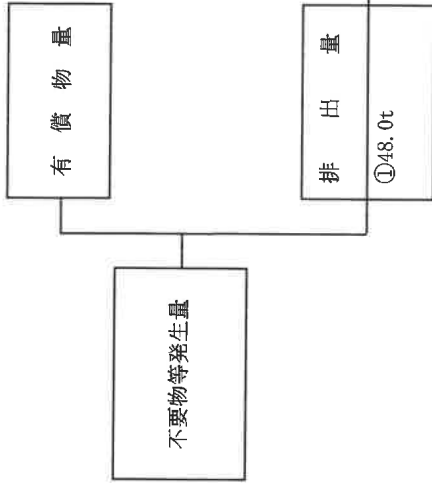
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑰0t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫38,935t

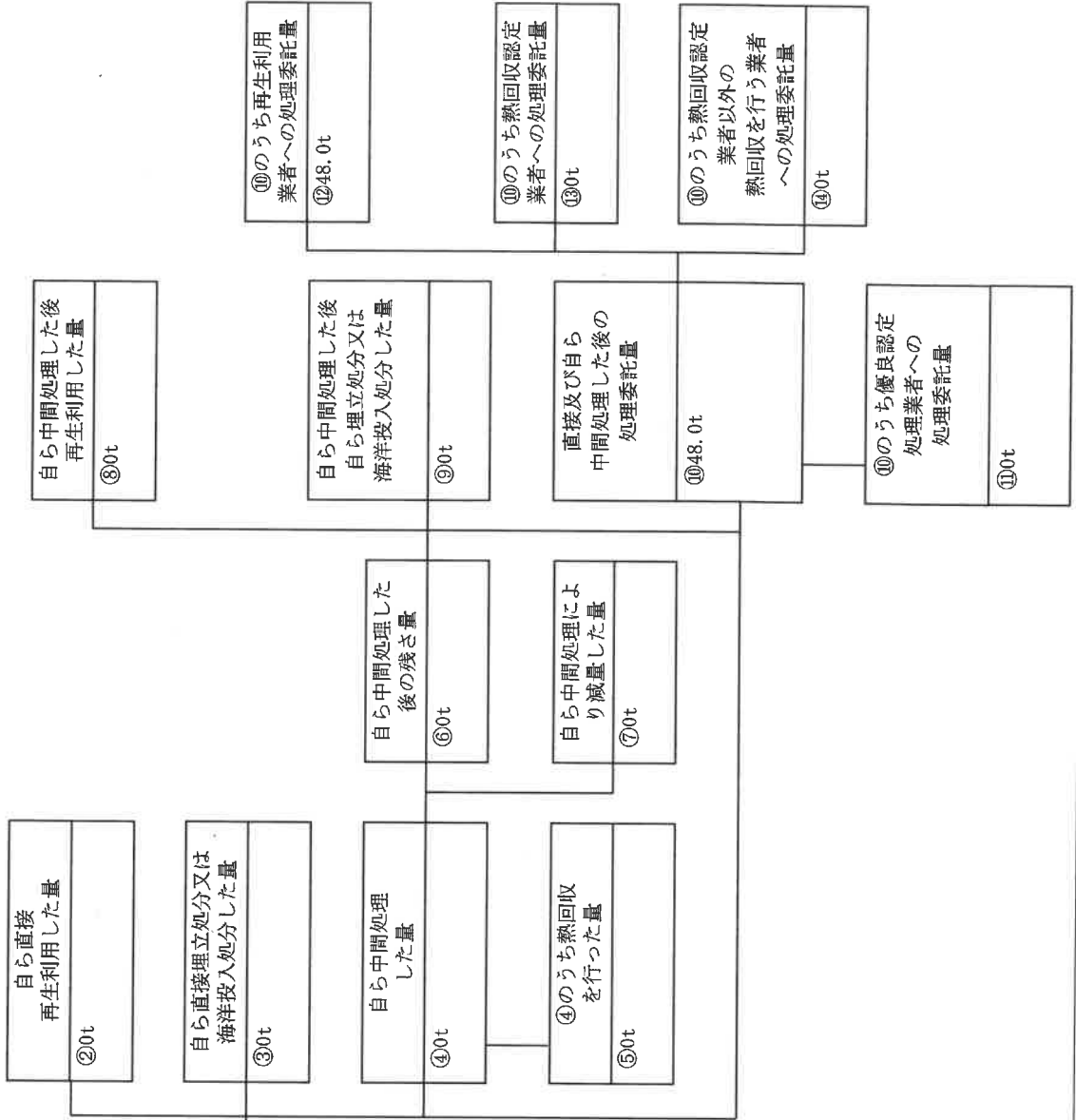
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬0t

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量
⑭0t

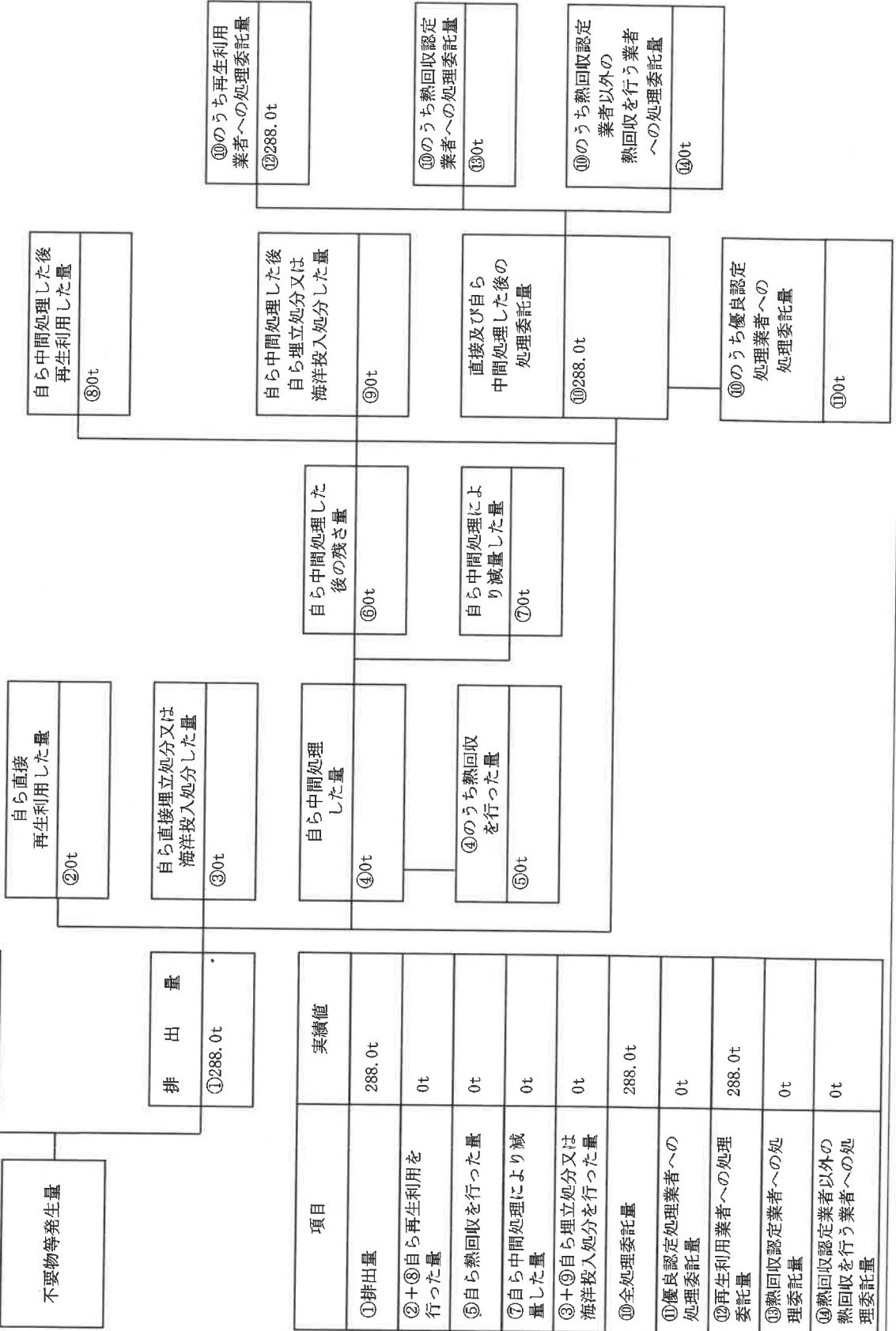
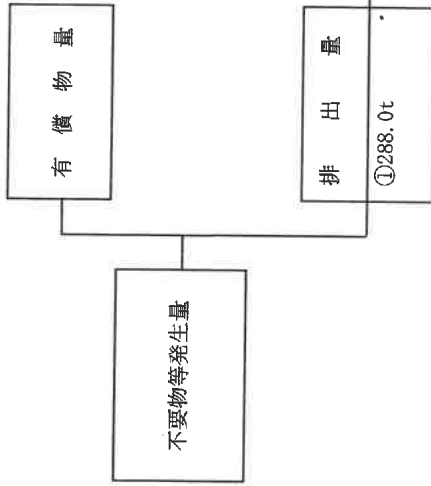
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：その他がれき類)



項目	実績値
①排出量	48.0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	48.0t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	48.0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

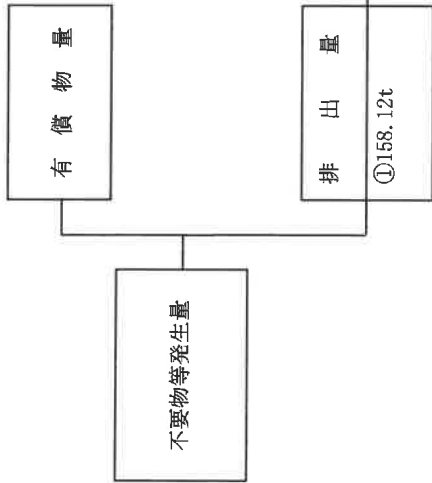


計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：コンクリートがら)



項目	実績値
①排出量	288.0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	288.0t
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	288.0t
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑩熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0t

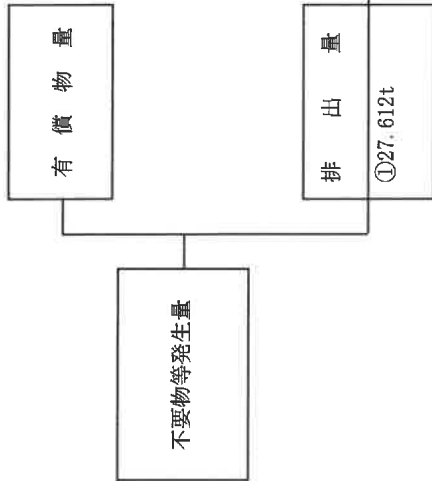
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：アスファルトから)



項目	実績値
①排出量	158.12t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	158.12t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	158.12t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

自ら直接再生利用した量	②0t	自ら中間処理した後の再生利用した量	⑧0t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③0t	自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨0t
自ら中間処理した量	④0t	自ら中間処理した後の残さ量	⑥0t
④のうち熱回収を行った量	⑤0t	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩158.12t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫158.12t	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑭0t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬0t	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑮0t

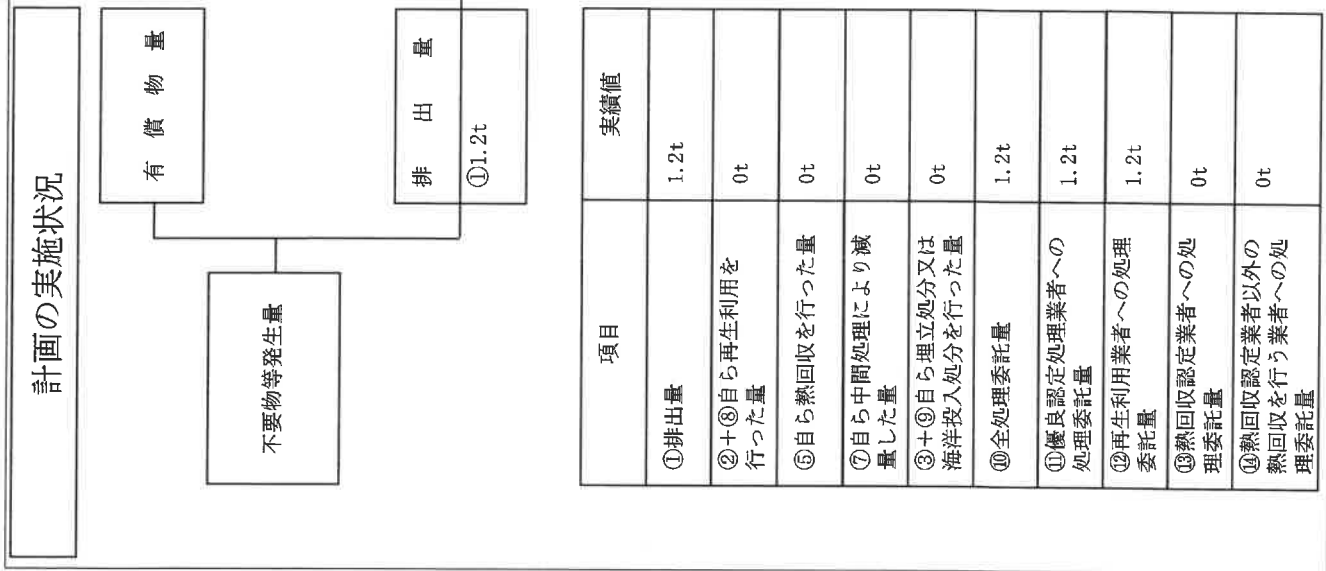
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：混合廃棄物 (管理型含む))



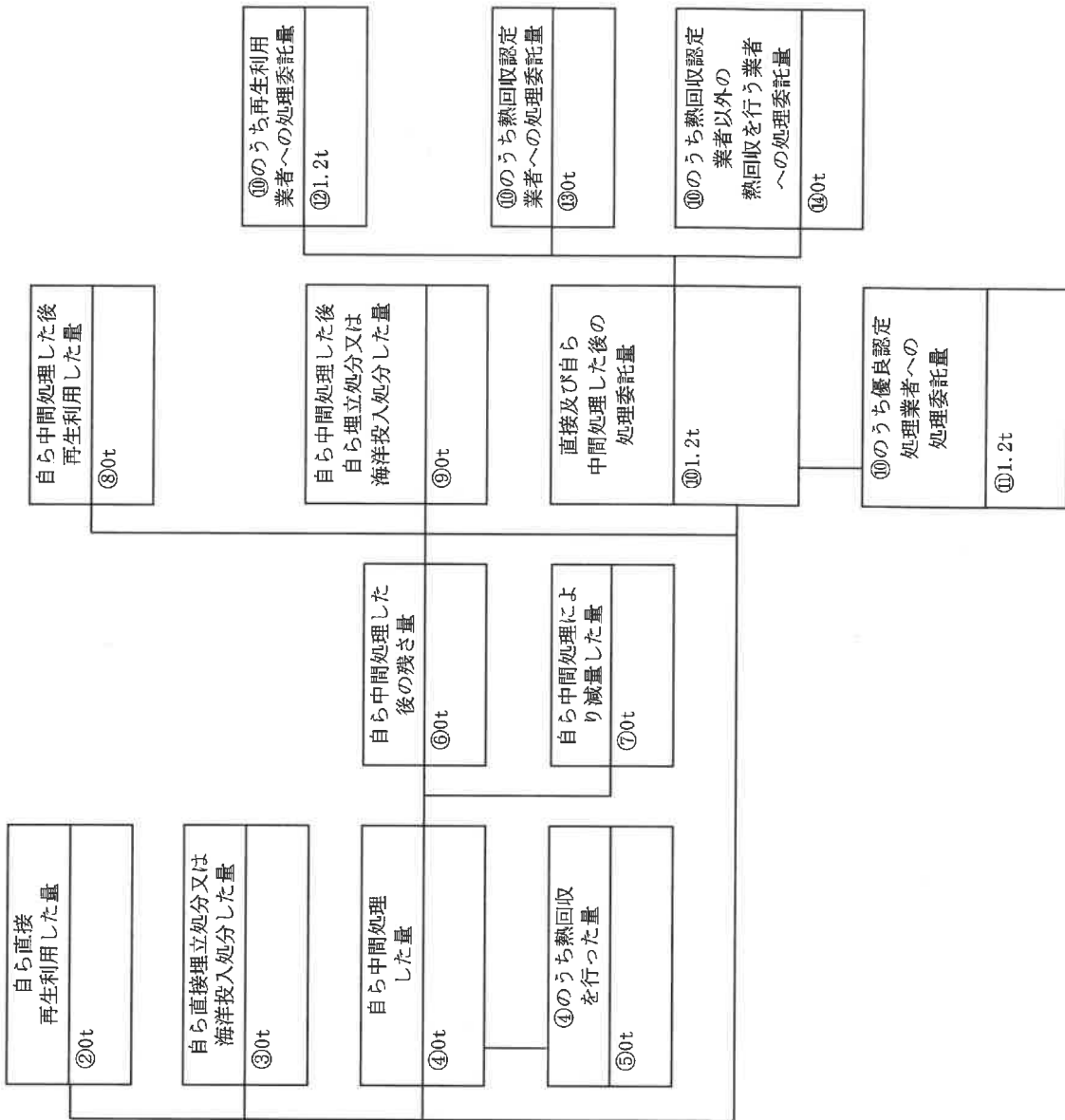
項目	実績値
①排出量	27.612t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	27.612t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.612t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.612t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

自ら直接再生利用した量	②0t	自ら中間処理した後の再生利用した量	③0t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③0t	自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨0t
自ら中間処理した量	④0t	自ら中間処理した後の残さ量	⑥0t
④のうち熱回収を行った量	⑤0t	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
			⑭0t
			⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量
			⑫0t
			⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量
			⑭0t

(産業廃棄物の種類：紙くず)



項目	実績値
①排出量	1.2t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1.2t
①優良認定処理業者への処理委託量	1.2t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.2t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。